



堀越齋観音の鬼瓦

包括だより

発行所
泉大津市地域包括支援センター
(泉大津市社会福祉協議会)
Tel. 0725-21-0294
〒595-0026 泉大津市東雲町 9-54

元気の秘訣



助松町
濱野 幸三郎さん
(90歳)

Q. これまでの人生を振り返って
A. 昭和10年から織屋をやっているよ。親父が跡取って、弟が織屋を始めた。ワシは小さいころから織屋で小さい籠に座ってた。小学4〜6年頃から工場で糸通しとか糸繋ぎの手伝いしながら百姓してた。こころ一面畑や田んぼやってんで。戦争も経験したよ。空襲警報で母親と二人で逃げて焼夷弾が落ちてきて、怖い思いもした。怖かったで。昭和25年の6月にはオート三輪の免許とって、昭和30年に普通免許をとって車を借りて両親をドライブに連れて行った。車の運転には自信がある。昨年12月に免許を更新した。もう2回ほど免許の切り替えしたいなあ。子どもには長いこと運転したらアカンって言われているから長い距離は運転してないけど、水間くらいまではいくよ。正月は水間寺まで行くよ。

Q. 一番良かった頃は？
A. 良かったのは結婚して新婚旅行行った時かなあ。車で紀伊半島一周、白浜から勝浦、峠を越えると雲海が広がって綺麗やった、そこから尾鷲行って伊勢神宮まで行ったわ。嫁さんは、よく気がつくし、よおやってくれたよ。喜んでる。10年前に脑梗塞になって78歳で亡くなった。朝起きてご飯の支度するのは大変だけど、十三回忌とめるまでがんばろうと思ってる。



Q. 元気の秘訣は？
A. 身体を動かすこと。マグロやないけど止まったら死んでしまう。仕事は注文があったら土・日もやっているよ。シッとテレビ見て終わるのは嫌い。

Q. 最近、嬉しかったこと？

A. 90歳の誕生日に4人の子どもに誕生祝いをしてもらったこと。ワシントンホテル(白水)でケーキも用意してくれて祝ってくれたよ。嬉しかったわ。1月28日には、3人目のひ孫も生まれて楽しいこといっぱいけどお金もある。(笑い)

Q. 楽しんでることは？
A. 昔の地図集めて、来た人に見せるのが好きやなあ。それと泉大津市広報のおおつ物語は、知らんことが載ってるから平成13年から集めてる。歴史も好きやから新聞もとって、切り取って子どもに見せたりしてる。亥の日に火を入れるって言うたり、そういうえば嫁さんもそうしてたなあって。



明治16年の助松町近隣の地図

編集後記

自宅を訪ねると織屋の工場におられる小さな針の穴に糸を通して直しをしているところだと言われ見せていただきました。普段は織機も使っていないのだとお聞きし、年齢を感じさせないバイタリテイに驚きの連続でした。



在宅医療・介護 連携コーディネーター

みなさんの「自宅での療養生活」や「介護」に関する
お悩みの解決を支援します。お気軽にご相談ください！

病院を退院したら心配事には
誰に関わってもらったら良い
のかしら？



母は一人暮らしで認知症が
あるけど、どうやって介護
したら良いのかしら？



【問合わせ先】※令和 6 年 3 月 25 日(月)に泉大津市地域包括支援センターはベルセンターから
市立総合福祉センター内に移転します。

泉大津市地域包括支援センター (社会福祉法人泉大津市社会福祉協議会) [担当: 城家]

住所: 〒595-0026 泉大津市東雲町 9-15 (市立総合福祉センター内)

TEL: **0725-21-0294** [TEL・窓口受付時間] 平日 8:45~17:15

